イザ！カエルキャラバン！IN 言問（ことといい）2019

MESSAGE FROM 1995 AT KOBE

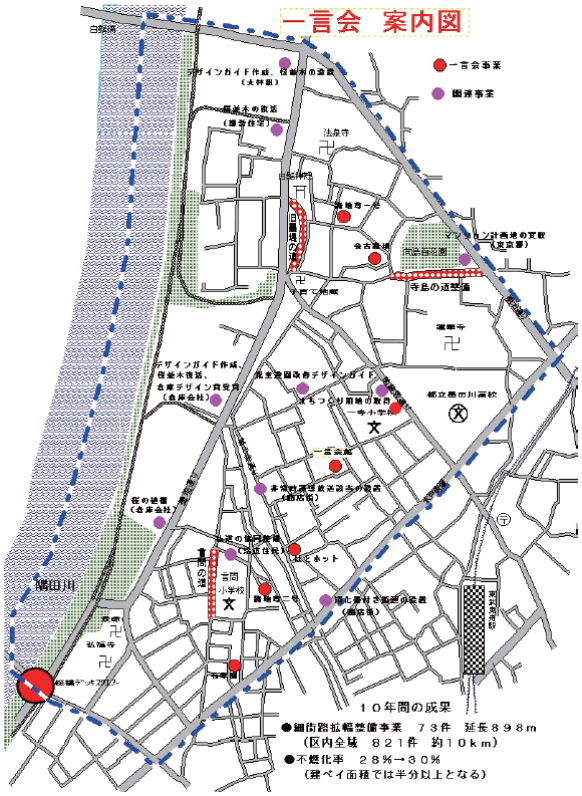
報 告 書

令和２年３月

一寺言問を防災のまちにする会

主催者：「一寺言問を防災のまちにする会」（通称　一言会）

・「一言会」は東京都の「防災生活圏」モデルとして、1985 年に発足しました。
・一寺小と言問小を避難拠点とする防災まちづくりの区域を、災害に強く、もしもの時には助け合えるまちにしようと様々な活動をしています。
・都や墨田区と一緒に、雨水利用の「路地尊」を作ったり、歩きやすい街路の整備をしたり、「瓦版」で道の拡幅や耐震補強の啓蒙活動、地域内の開発行為のチェックをしています。
・現在、都や区の資金はありませんが、皆さまの資金援助やご協力をいただき、未来を担う子ども達向けに、防災力を育む「イザ！カエルキャラバン」を主催しています。



一言会の主な歩み　　2018／02現在

1985年（昭60）	4月	東京都「防災生活圏モデル事業」指定
〃	9月	機関誌　「防災まちづくり瓦版」第一号発行
〃	10月	芝居「おお！まちづくり」上演
		まちづくり有志の会「わいわい会」結成
86年（昭61）	9月	防災イベント「一言まつり」開催
		「一寺言問を防災のまちにする会（通称　一言会）」結成
87年（昭62）	3月	「路地尊1号基」（東向島3）設置
〃	6月	墨田区に対し「防災まちづくり計画」提案
88年（昭63）	3月	「路地尊2号基」（貯水量3トン・向島5）設置
〃	3月	墨田区が「一寺言問地区整備計画」提示
89年（平　1）	4月	「防災小緑地　向島有季園」・路地尊3号基（貯9トン・向島5）整備
90年（平　2）	3月	「旧墨堤の道」（東向島3　百花園前）整備
〃	3月	「防災まちづくり衆会（ﾌｫｰﾗﾑ）」開催
91年（平　3）	5月	「寺島の道」（東向島3　百花園前）整備
〃	5月	「会古路地（ｴｺﾛｼﾞ）」・路地尊4号基（貯10トン）整備
〃	5月	日本建築学会「文化賞」受賞
92年（平　4）	4月	「デッキスクエアー」（向島5　桜橋東詰）整備
〃	5月	「はとほっと」・路地尊5号基（貯3トン・東向島1）整備
93年（平　5）	4月	東京都「防災生活圏促進事業」導入
94年（平　6）	4月	「三とも通り」（向島5　言問小学校西側通学路）整備
〃	8月	第1回「雨水利用国際会議」参加
96年（平　8）	4月	「一言集会所（まちづくり広場併設）」
		・路地尊6号基（貯20トン・東向島1）開所
97年（平　9）	3月	第1回「防災まちづくり大賞」
		ものづくり部門「自治大臣賞（第1席）」受賞
98年（平10）	7月	「向島国際デザインワークショップ」共催
2000年（平12）	10月	「向島博覧会」共催
01年（平13）	3月	「一言地区空き地空き家調査」実施
〃	11月	「アートロジー向島博覧会2001」共催
03年（平15）	1月	一言集会所「花壇整備員」制度発足
〃	8月	「打ち水大作戦」参加
〃	8月	「震災復興模擬訓練」実施（全6回）
04年（平16）	8月	「打ち水大作戦」参加
〃	10月	「向島キャラバン」参加
〃	12月	「震災復興模擬訓練」実施（全3回）
05年（平17）	10月	「一言会発足20周年記念式典」開催
〃	10月	中学生の地域防災訓練への参加要請（標準校区3中学校）
06年（平18）		墨田区まちづくり条例の地区まちづくり認定団体（第一号）となる
		「防災意識調査」「路地園芸調査」

07年（平19）	1月	防災教育チャレンジプラン参加（中学生の地域防災訓練参加促進）
〃	2月	「震災復興模擬訓練」実施（全3回）
〃	9月	～11月上記チャレンジプランの実施
		（延べ参加町会数23町会、参加中学生16名）
08年（平20）	10月	「まちづくり談義」再開
09年（平21）	10月	小学生向け防災体験ワークショップ「イザ！カエルキャラバン」開催
	11月	「まち普請（緊急避難路地づくり）」先進事例（板橋）見学
	12月	「まち普請」点検まち歩き
10年（平22）	1月	「まち普請」模型シュミレーション
	2月	「まち普請」モデル地区の検討
	10月	「第2回　イザ！カエルキャラバン」開催
	11月	「一言会発足25周年記念式典・防災まちづくり衆会（フォーラム）・すみだ2010」開催
11年（平23）	10月	「路地懇談会」
	11月	「全国路地サミット2011inすみだ」開催協力
	12月	「路地懇談会」
12年（平24）	2月	「第3回　イザ！カエルキャラバン」開催
	3月	「路地懇談会」
	4月	墨田区内「カエルキャラバン」経験交流会（亀沢・カメップ）
	11月	「第4回　イザ！カエルキャラバン」開催
13年（平25）	11月	「第5回　イザ！カエルキャラバン」開催
14年（平26）	10月	「東向島1丁目プロジェクト（協同建替）」現地調査
	11月	「第6回　イザ！カエルキャラバン」開催
15年（平27）	1月	「東向島1丁目プロジェクト」事例見学
	11月	「第7回　イザ！カエルキャラバン」開催
	11月	「一言会発足30周年記念式典・防災まちづくり衆会（フォーラム）・すみだ2015」開催
	12月	「東向島1丁目プロジェクト」勉強会
16年（平28）	2月	「東向島1丁目プロジェクト」勉強会
17年（平29）	2月	「第8回　イザ！カエルキャラバン」開催
18年（平30）	2月	「第9回　イザ！カエルキャラバン」開催

めざすは、
100 年後の
素敵なまち

イザ！カエルキャラバンとは

・「イザ！カエルキャラバン」は地域の防災訓練イベントとおもちゃの交換会「かえっこバザール」を組み合わせた防災イベントです。
・地域の防災訓練プログラムを体験するともらえるポイントとおもちゃを交換することができます。
・子どもがポイントを貯めるために楽しみながら防災訓練プログラムをすることで、防災上必要な知識を身につけることができます。
・また、子どもが積極的に参加する防災イベントとして、家族連れでにぎわう新しいカタチの防災訓練です。

出典：イザ！カエルキャラバンHPより

イザ！カエルキャラバンの流れ

1．いらなくなったおもちゃで「カエルポイント」をもらう
↓
2．「カエルポイント」で好きなおもちゃに交換する
↓
3．防災体験で「カエルポイント」をためる
↓
4．特別なおもちゃはオークションで落札

開催目的

・防災上必要な知識を・技術を何度も体験し、身につけることができる。
・新しく本地域に住み始めた世帯が、地域とのつながりをつくることができる。

・有事の際にも助け合える、地域内団体間の協力関係を築くことができる。

防災をきっかけに、地域のひと・歴史・文化を知る、愛着をもつこと

地域自治力 ＝ 災害時の共助力を高める

今年度の取り組みの特徴

・令和最初、言問小学校では２回目の開催。
・天気がよく、たくさんの子どもが参加。スタッフ数も過去最大。
・地震災害以外のプログラムを多数実施。
・バンダナを更新（「寺島」→「一寺言問」）
・行政等の補助金を利用せず、100％協賛金等でイベントを実施。

（参考）過去の取り組み状況と特徴

第 1 回[2009 年度]：2009 年 10 月 4 日　➡初実施。３町会合同防災訓練と共同開催
第 2 回[2010 年度]：2010 年 10 月 3 日　➡単独開催。地域に開かれたプログラムの実施
第 3 回[2011 年度]：2012 年 2 月 4 日　➡冬期＆夜に寒さ、暗さ対策プログラムの実施
第 4 回[2012 年度]：2012 年 11 月 4 日　➡初めて全プログラムを参加し易い外部で実施
第 5 回[2013 年度]：2013 年 11 月 4 日　➡乳幼児をもつ親向けのプログラムを初実施
第 6 回[2014 年度]：2014 年 11 月 9 日　➡都市型水害や雨水利用を主要テーマに実施
第 7 回[2015 年度]：2015 年 11 月 14 日　➡企画段階から関係諸団体との協働で実施
第 8 回[2016 年度]：2017 年 2 月 26 日　➡資金的、体制面で持続可能な方法へ転換
第 9 回[2017 年度]：2018 年 2 月 10 日　➡言問小学校で初開催。言問地区との連携強化
第 10 回[2018 年度]：2018 年 11 月 23 日　➡台風で順延開催。区職員のプログラム支援

イザ！カエルキャラバン in 言問 2019 の概要

<日時>

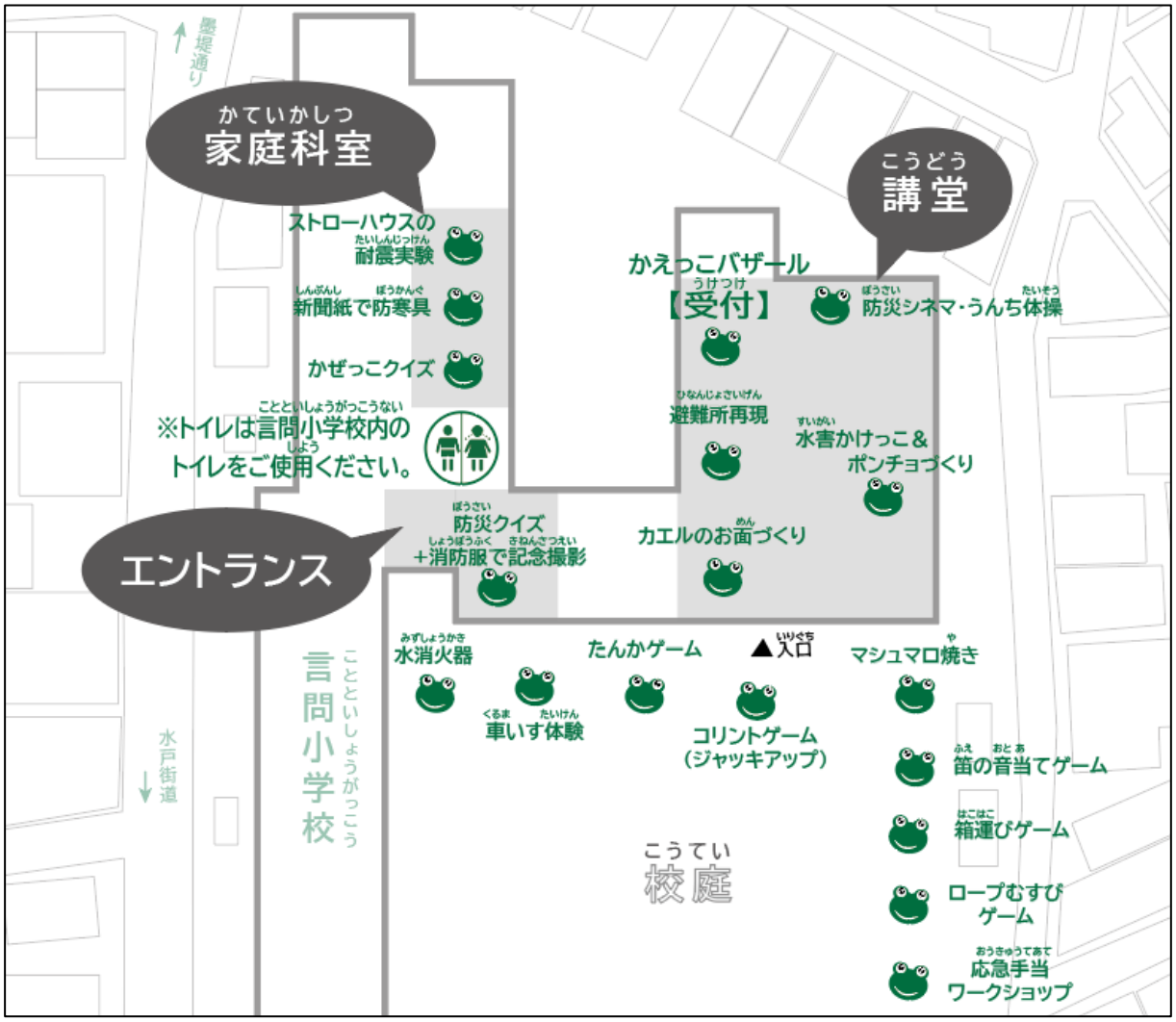
２０１９年１１月１７日（日）　午後１時～４時

<場所>

言問小学校（講堂、校庭、校舎）

<プログラム>

１８プログラム（かえっこ銀行、オークション含まず）



＜参加者数＞

約**４００**名（参加者　約３００名、スタッフ　約１００名）

（参考）過去の参加者数

開催回	参加者数
第 1 回[2009 年度]：2009 年 10 月 4 日	１３０名
第 2 回[2010 年度]：2010 年 10 月 3 日	３５０名
第 3 回[2011 年度]：2012 年 2 月 4 日	３２０名
第 4 回[2012 年度]：2012 年 11 月 4 日	３５０名
第 5 回[2013 年度]：2013 年 11 月 4 日	３２０名
第 6 回[2014 年度]：2014 年 11 月 9 日	２５０名
第 7 回[2015 年度]：2015 年 11 月 14 日	２５０名
第 8 回[2016 年度]：2017 年 2 月 26 日	２８０名
第 9 回[2017 年度]：2018 年 2 月 10 日	２８０名
第 10 回[2018 年度]：2018 年 11 月 23 日	３５０名

＜協賛・協力団体＞

・前回、協賛していただいた団体の他に、追加で協賛団体が１団体の協力をいただきました。
・また、イベント当時には、協賛・協力団体の一覧(大判)を会場に展示しました。

【協賛団体】

東京向島ロータリークラブ／東京東信用金庫／（株）金子製作所／（株）明正／（株）アドバンス／髙田運輸（株）／長命寺　桜もち／（有）クエストワークス一級建築士事務所／（株）向島不動産／ＳＡＣ／（株）　シーケーネット／（株）　トーカイ／高久産業（株）／久米不動産／（株）一空建築工房

【協力団体】

都立墨田川高校／都立本所高校／区立第一寺島小学校・同 PTA／区立言問小学校・同 PTA／区立第二寺島小学校 PTA／区立第三寺島小学校 PTA／区立小梅小学校 PTA／区立墨田中学校 PTA／墨中地区青少年育成委員会／一寺地域防災情報連絡会／言問小地区防災連合会／向島消防署／本所消防署／本所消防団第三分団／本所消防団第四分団／本所消防団第八分団／てらじま広場愛護会／NPO 法人プラス・アーツ／ボーイスカウト墨田８団／ボーイスカウト墨田９団／東京土建墨田支部／ふじのきさん家（NPO 法人燃えない壊れないまち・すみだ支援隊）／墨田区少年団体連合会／むこうじま高齢者支援総合センター／こうめ高齢者支援総合センター／むこうじま高齢者みまもり相談室／（公社）墨田区医師会／東京工業大学真野研究室／芝浦工業大学　すみだの巣づくりプロジェクト／工学院大学藤賀研究室／千葉大学鈴木研究室／中央大学林光洋ゼミナール

【協力町内会】

東向島一丁目中町会／東向一南町会／堤通一丁目町会／東向島宮元町会／向島五丁目西町会／向島五丁目東町会

協賛・協力団体の一覧(大判)を会場に展示している様子

＜広報活動＞

・例年実施しているイベント開催のチラシ、防災まちづくり瓦版（一言会発行）を作成して、小学校などの間施設等に配布しました。

イザ！カエルキャラバン！の開催チラシ

防災まちづくり瓦版による開催のお知らせ

＜当日配布資料等＞

・イベント当日には、プログラムの配置資料を参加者に配布しました。

当日配布資料（プログラム配置図）

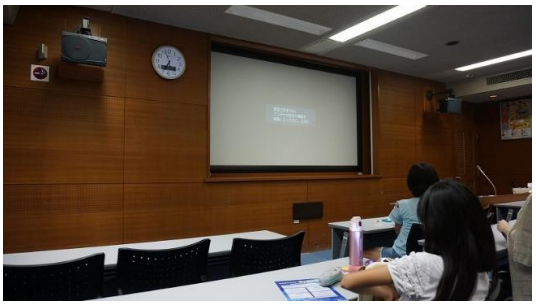
プログラムの検討ワークショップ

・地域団体に協力を依頼し、防災訓練プログラムの検討するためにワークショップを実施しました。

会議日程・場所	会議の内容
第１回 ７月 18 日（木） 一寺言問集会所	■一言会の概要説明 ■今年度のカエルキャラバンの概要 ・開催日程、会場の確認 ■昨年度のカエルキャラバンの報告 ■プログラムの検討 ・アイデア出し
防災体験ツアー ８月２日（月） 池袋防災館	■池袋防災館でナイトツアー防災体験 ・体験は①防災シアター、②地震体験、③消火体験、④煙体験
第２回 ８月８日（木） 一寺言問集会所	■防災体験の報告 ■プログラムの検討（グループ別） ・アイデア出し ・プログラムの内容の検討 ・実現可能性の検討、課題の整理 ■その他、意見交換 ・寄附（協賛企業）、ボランティアスタッフ依頼等 ・その他の意見交換
第３回 ９月 11 日（水） 一寺言問集会所	■プログラムの内容の説明（グループ別） ・プログラムの内容、備品、役割分担、費用 ■寄附（協賛企業）の状況 ・追加寄付 ■広報の検討 ・配布方法、配布箇所、配布数 ・チラシ・かわら版のデザイン（たたき台を参考に）
第４回 10 月 15 日（火） 一寺言問集会所	■プログラムのデモ実施・進捗状況 ■当日の役割分担の確認 ■チラシ・かわら版の配布

防災体験ツアーへの参加報告

・8 月 2 日（月）の 19 時から、防災知識の向上及びカエルキャラバンのプログラム検討のために、池袋防災館で暗闇の中で防災体験ができる「ナイトツアー」にカエルキャラバン実行委員が 7 名、参加しました。
・真っ暗で地震や火災に遭遇した場合の防災体験ができたことは非常に良い経験でした。

①防災シアター	②地震体験
	
③消火体験	④煙体験

バンダナの更新

・カエルキャラバンでスタッフが利用するバンダナについて、一部修正しました。

・具体的には、「TERAJIMA」を「ICHITERAKOTOTOI」に修正しました。

更新したバンダナ→

当日の様子

■準備・昼食

・当日のスタッフの昼食として、非常食（アルファ米）と味噌汁を準備。
・非常食（アルファ米）は墨田区から提供、味噌汁は一言会で準備。

■かえっこ銀行

・おもちゃをカエルポイントに交換したり、カエルポイントをおもちゃに交換する場所。
・東京東信用金庫、墨田区少年団体連合会、一言会が担当。

■アンケート調査

・イベント保険の名簿作成のためのアンケート調査（子ども向け）と防災意識やコミュニティに関する調査（大人向け）の調査を実施。
・中央大が担当。

■うんち体操

・避難所生活による体調不良を改善するうんち体操の体験とクイズを実施。
・高齢者支援団体、墨田区医師会が担当。

■車いす体験

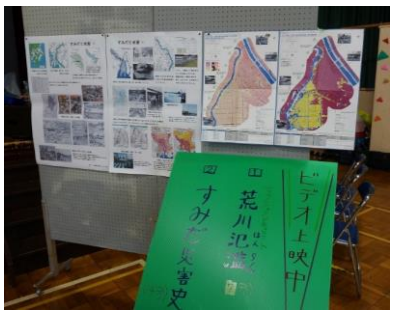
・車椅子の押し方や乗せ方などをレクチャーした後に、実際に車椅子を体験。
・高齢者支援団体、墨田川高校が担当。

■カエルのお面づくり

・カエルの形をしたプラスチックに色鉛筆で着色をしてもらい、お面を作成。
・一言会が担当。

■ビデオ上映

・荒川氾濫とすみだ防災史のビデオを上映。墨田区のハザードマップを展示。
・一言会が担当。



■ホイッスル音あて

・防災トレイの中から防災ホイッスルの音を当てるゲーム。音あての後に、防災トイレについて説明。
・一言会が担当。

■マシュマロ焼き

・炭や薪などでマシュマロ焼きの体験。
・一言会が担当。

■水害かけっこ＆ポンチョづくり

・イラストを用いた水害に関するクイズとごみ袋を利用したポンチョを作成。
・プラス・アーツが担当。

■避難再現

・避難所での一人あたりのスペースの体験と避難所での暮らしに必要な備品を説明。
・東工大が担当。

■ナマズふろしきで箱運びゲーム

・ナマズ（防災）風呂敷を利用した災害時備品を運んで回答するゲームを実施。
・当日は、ナマズ風呂敷のテレビ取材があった。
・芝浦工大学生とふじのきさん家が担当。

■応急手当ワークショップ

・三角巾や絆創膏の正しい使い方を学び、応急手当を体験。
・ボーイスカウトが担当。

■ロープ結びゲーム

・災害時に役に立つロープの結び方を学び、そのロープ結びを活用し、ペットボトルを運ぶゲーム。
・ボーイスカウトが担当。

■ジャッキアップゲーム

・ジャッキアップの使い方を学び、ボーリングゲームを楽しんでもらう。
・東京土建、千葉大が担当。

■担架体験

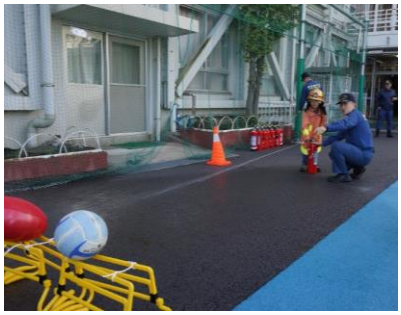
・担架の使い方を体験。ボールを利用するとバランスを取るのが難しい。
・東京土建、工学院大が担当。

■防災クイズ

・パソコンを用いた防災クイズの実施と子どもが着用できる消防服を用意。
・消防署が担当。

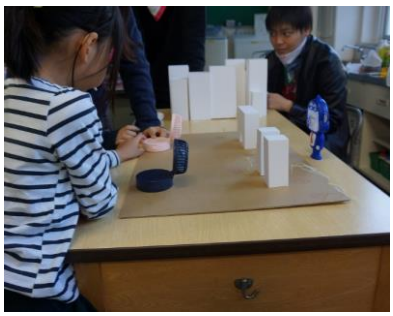
■水消火器　的あてゲーム

・水消火器の水を的に当てるゲームで、消火器の使い方を学ぶ。
・消防団が担当。



■かぜっこクイズ

・風被害に関する模型を用いた体験やクイズを実施。
・工学院大が担当。



■ストローハウスの耐震実験

・揺れても強い建物の構造について、ストローとクリップで模型を作りながら学ぶ。
・芝浦工大が担当。

■災害関連クイズ＆アンケート

・防災に関するクイズとシールを用いた簡単なアンケートを実施。
・芝浦工大が担当。

■オークション

・最後のプログラムとして、防災訓練で貯めたカエルポイントでおもちゃのオークションを開催した。
・一言会が担当。

■集合写真

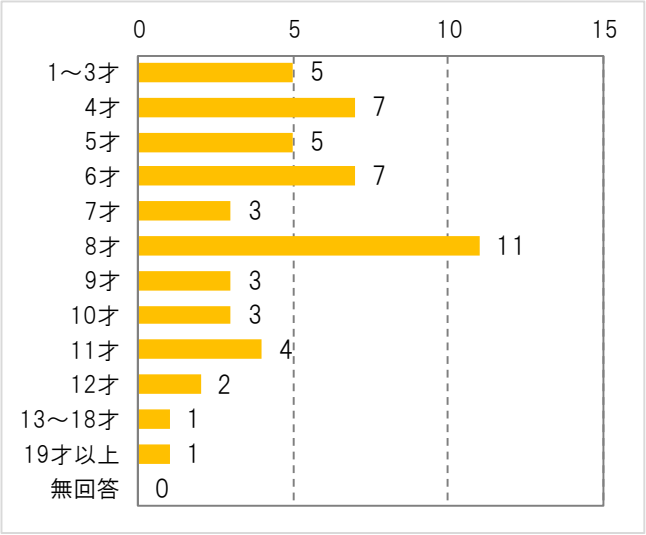
当日アンケート調査の結果

【アンケート結果概要】

・アンケートの回答数は 52 件。
・回答者の年齢は、「8 才（21%）」が最も多く、次いで「6 才（14%）」、「4 才（14%）」と、低学年の子どもが多くいました。
・回答者の住まいは、「墨田区（一寺小学校区以外）（44%）」が最も多く、次いで「言問小学校区（31%）」、「東京都（19%）」であり、学校区外からも多くの子どもが参加しています。

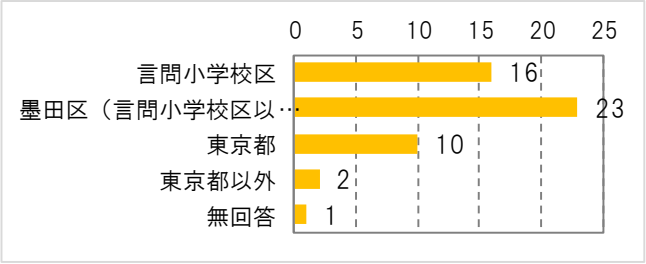
■年齢

年齢	回答数	構成比
1～3才	5	9.6%
4才	7	13.5%
5才	5	9.6%
6才	7	13.5%
7才	3	5.8%
8才	11	21.2%
9才	3	5.8%
10才	3	5.8%
11才	4	7.7%
12才	2	3.8%
13～18才	1	1.9%
19才以上	1	1.9%
無回答	0	0.0%
合計	52	100%



■住まい

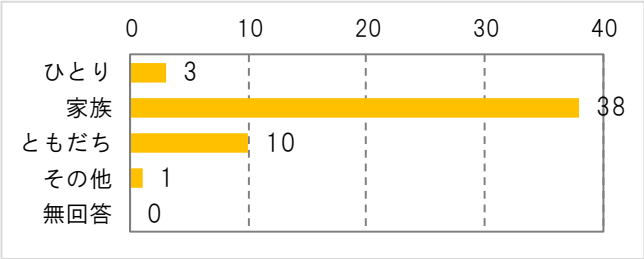
住まい	回答数	構成比
言問小学校区	16	30.8%
墨田区（言問小学校区以外）	23	44.2%
東京都	10	19.2%
東京都以外	2	3.8%
無回答	1	1.9%
合計	52	100%



・一緒に来た人は、「家族（73%）」が最も多く、次いで「友達（19%）」でした。これはカエルキャラバンの目的でもある、家族と一緒に参加している人が多いことが分かりました。
・イザ！カエルキャラバンへの参加回数は、「はじめて（56%）」が最も多く、次いで「２回目（23%）」、「３回目（23%）」でした。今回は初めて参加する子どもが半数以上いました。そのため、当日はカエルキャラバンのシステムに関する質問を多くありました。
・地域の防災訓練等への参加状況は、「たまに参加している（58%）」が最も多く、次いで「ほとんど参加していない（37%）」でした。４割近くのほとんど防災イベントに参加してない方が、カエルキャラバンに参加してくれました。

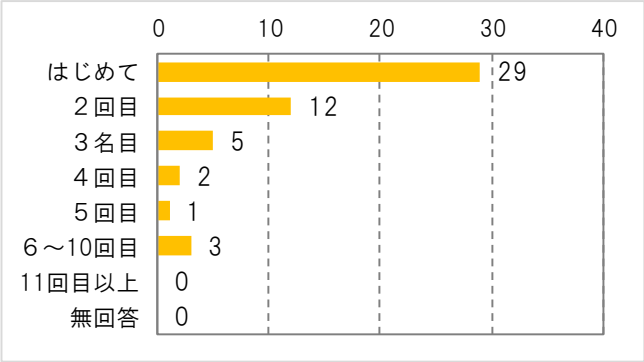
■今日はだれと来ましたか。

住まい	回答数	構成比
ひとり	3	5.8%
家族	38	73.1%
ともだち	10	19.2%
その他	1	1.9%
無回答	0	0.0%
合計	52	100%



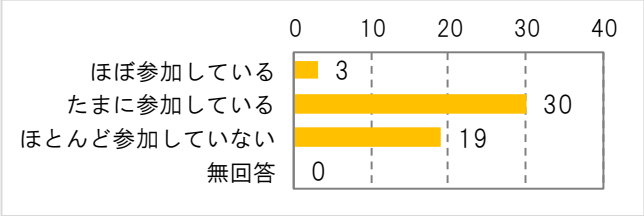
■今回のイザ！カエルキャラバンは何回目の参加ですか。

住まい	回答数	構成比
はじめて	29	55.8%
2回目	12	23.1%
3名目	5	9.6%
4回目	2	3.8%
5回目	1	1.9%
6～10回目	3	5.8%
11回目以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	52	100%



■地域の防災訓練や防災イベントに参加していますか。

住まい	回答数	構成比
ほぼ参加している	3	5.8%
たまに参加している	30	57.7%
ほとんど参加していない	19	36.5%
無回答	0	0.0%
合計	52	100%



決算報告（収支）

（単位:円）

収入	項目	金額	備考
	協賛金	210,000	
	計	**210,000**	

（単位:円）

支出	項目	金額	備考
	バンダナ購入費	123,780	
	プログラム備品購入費	18,494	
	資機材レンタル料	55,000	特定非営利活動法人ﾌﾟﾗｽ･ｱｰﾂ
	イベント保険料	4,200	
	昼食代	4,587	
	レンタカー代	10,422	
	報告書印刷費	31,329	100 部
	両替・振込手数料	1,320	
	計	**249,132**	

【差引収支】

210,000 円　－　249,132 円　＝　**-39,132 円**

※差額分は過年度の積立金（101,752 円）から補填

今後の取組みに向けて＜課題＞

・当日の振り返りと今後の取組への課題等についての意見交換を行う反省会を行いました。

【反省会の概要】

日時：2019 年 12 月 19 日　19：00～

場所：一言集会所

【主な意見】

・お昼の時間が開催直前のため、慌ただしかった。お昼の時間を調節する、お昼スペースを会場とは別に用意するなどの対応が必要。
・メイン会場（講堂）から離れている会場（家庭科室や玄関）へ、参加者を誘導することが困難であった。
・レイアウト的に家庭科室のプログラムへの人の流れがよくなかった。サインの掲出、導線におもちゃ置き場を設置などの工夫があってもよい。
・プログラム用の車いすは、当日も高齢者の救出に活躍した。
・ボーイスカウトの子どもたち（特に低学年）は、カエルキャラバンを楽しんでいる。
・カエルのお面づくりは、今までで一番参加者が多かった。
・体育館にマシュマロの煙が入ってきたので、実施場所や換気などに注意。
・ゴミ袋ポンチョの作り方が分かる資料や動画があると、更に深い理解につながった。作業するには、机が少し狭かった。スペースを広げるか、時間を決めて入れ替え制にして実施するなどの対応が必要。
・うんち体操は、子どもよりも保護者の方が本気で参加しており、親が子どもを引き連れて参加してくれた印象。親子そろって参加してくれたのが珍しかった。おもしろかったので来年も開催したい。
・車いす体験については、普段車いすに触れることない子どもたちに知ってもらえた。これから車いすは身近になっていくため触れてほしい。小さい子どもに車いすに乗せる経験が少ないので、扱いが難しかった。
・かえっこバンクでは、おもちゃのシールを貼るのに時間がかかる。１ポイントは貼らないなどの対応があってもよい。
・オークションで落札したが交換に来なかった場合は、再度オークションをしてもよかった。

最後に

イザ！カエルキャラバン in 言問 2019 にご協力いただいた多く方々にお礼を申し上げます。

来年度は一言会ができて３５年目の節目を迎えます。これからも「100 年後の素敵なまち」の実現に向けて活動を続けてまいりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

イザ！カエルキャラバン in 言問 2019
報告書

令和２年７月
作成：一寺言問を防災のまちにする会